

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

事業者選定（入札）方式について2

□事業者選定（入札）方式の検討

総合評価一般競争入札と公募型プロポーザル方式の特徴から事業者選定（入札）方式について検討しました。

▶総合評価一般競争入札とは？

予定価格の範囲以内で入札した者のうち、価格だけでなくその他の条件（維持管理・運営のサービス水準、技術力等）を総合的に判断し、落札者を決定する方式です。

特徴

- ・性能仕様を予め定めることが可能であり、業務の内容、水準が長期的に安定している事業に適している。
- ・価格の他に品質、機能等を評価対象に加えることで、技術、価格の両面で競争を促進させることができる。
- ・入札であることから、入札不調時には、再入札の実施が必要である。

▶公募型プロポーザル方式とは？

競争の方法によらないで、公募により事業提案を募集し、事業者の能力や提案を評価し、最も優れた者を契約候補者として選定する方式です。

特徴

- ・性能仕様を予め定めることが困難な事業であり、業務の内容、水準について募集時点で変動の可能性が高い事業に適している。
- ・発注者側で予め性能、仕様を全て定める必要はなく、応募者が持つ高い技術や経験等のノウハウを生かすことができる。
- ・優先交渉権者との契約交渉が不調となった場合、次点交渉権者との契約交渉が可能である。

□事業者選定（入札）方式の検討結果

一般的なPFI事業における発注方式は、競争性の観点及び価格と提案内容の総合的評価を行う必要から、総合評価一般競争入札が最も多くなっています。本事業は、前例のない新しい取り組みである【地域に新たな価値を創出する廃棄物処理施設の整備】を目指すことから、下記の事柄を踏まえ、事業者選定（入札）方式を決定しました。

主な採用理由

1. 民間事業者の提案要素を大きくすることで、施設間連携を持った新たな廃棄物処理システムの構築が可能となる。このため、発注時の細かな性能・仕様を定めない要求水準とする必要があること。
2. 民間事業者からの提案要素の比重を高めることで、民間のノウハウを活かした施設整備、維持管理・運営及び環境への配慮等につなげ、PFI方式による、市民サービス向上等が実現されること。
3. クリスタルプラザの使用期限(令和11年3月末)までに確実に整備を完成させる必要があり、再入札のある入札による事業者選定を避ける必要があること。

本事業の事業者選定（入札）方式は、「**公募型プロポーザル方式**」を採用します。